

## ● 電動生ごみ処理機を使ってみよう! [乾燥型]

さまざまな生ごみ堆肥化方法の紹介

電気ポットのような形で、台所に置いて使うことができます。かくはんしながら、電気で加熱し、生ごみを乾燥させて減量します。この処理により、台所での生ごみの臭いや虫の発生の心配がなくなります。また、堆肥として利用するために行う2次処理もしやすくなります。



### !こんな方に向いています

- 集合住宅に住んでいるため、室内で処理したい。
- なるべく手間をかけずに処理したい。

### ■性能

サイズ	30cm(幅)×40cm(奥行)×50cm(高さ)程度
設置場所	台所などの室内 (小型で臭いがあまり出ないので室内で使用できる)
処理能力	700g程度の生ごみなら約2時間で処理できる。
減容率	7分の1程度(容積比)
電気代	800円/月程度。 (室内で使用できるため冬期間もほぼ同じ。)
メンテナンス	1週間に1度くらい、処理された乾燥生ごみを取り出す。



### ■使い方

- ① 1日分の生ごみをまとめて、よく水を切ってから処理機に投入する。
- ② ふたを閉めてスタートボタンを押すと処理が始まり、終わると自動的に停止する。
- ③ 1日の生ごみの量が700g程度であれば、1週間くらいは処理した生ごみを取り出さずに、そのまま次の生ごみを投入できる。
- ④ 処理容器が一杯になったら、処理した生ごみを取り出す。
- ⑤ 処理した生ごみに黒土を混ぜ、2カ月くらい熟成させると、堆肥として使えるようになる。



### 💡ポイント

- しっかり水を切ってから入れると、電気代を節約できる。また、できるだけ細かくきざむことも大切。
- この処理機では生ごみを乾燥させただけなので、肥料として使う場合は有機物を分解させる十分な熟成(使い方⑤の作業)が必要。



### 使用者の方からのアドバイス

- 処理時に若干音が出るので、近くにいると気になるかも。夜間に投入する場合は、寝室から離れた場所に置くなどの工夫をしてみてください。
- 腐った生ごみを入れると臭いがするので、できるだけ新鮮なうちに処理するようにしています。